



自ら掴む経営エッセンス!

(記事: 渡部成夫 過去記事も読めます⇒<http://idoina.com>)

7/1(火)

テーマ: 『四十の手習い、五十の倫理』

出席17社17名

(美浜13、他会2、非会員2)

講師: 千葉県倫理法人会文化委員長 金児 隆幸 氏



Takayuki Kaneko

倫理の実践が、今の金児氏の力の源。それが伝わってくる、楽しく力強い講話でした。

人生初の苦難、専任幹事の時だった

金児隆幸氏は、船橋生まれの船橋育ち。小学校時代、船橋駅北口は改札もなく、田んぼが続く農村地帯で、泥だらけになって無心に遊んだ。その北口も現在は開発され、金児氏は駐車場付手作りワイシャツ専門店フタバの3代目を務めている。

40歳の時、バブルが弾けたタイミングで、後継だった叔父による、売上金の使い込みと借金が発覚。その返済等で、1億円の借金を背負う。さらに、デフレが進行したが、銀行への返済のために賃料を下げられず、テナントが退去。銀行は手のひらを返し、資産の処分を要求した。

それが、今から6年前。「本当に、会社が潰れる」と思った。専任幹事の時だった。

周囲の人が気付かせてくれた。仕事の目的も、考え方も変わった

倫理で、「自分に現れた苦難は必ず解決できる」、「打つ手は無限」と何度も聴いていた。だが、振り返ってみれば、自分はまだ何の手も打っていない。仮に資産を処分したところで、手元には何も残らない。テナント収入が回復するまでは、社員に払える給料は、現在の半分だ。

それでも金児氏は、「絶対にこの苦難を乗り越えられる」と、まず信じた。そして、家族に状況を説明し、社員には給料の50%の支払いを待って欲しくないか

と相談をした。金児氏は、「この時初めて、社員と正面から向き合って話をした」という。社員は皆、「1年でも待つよ」と言ってくれた。この社員の言葉が、金児氏を変えた。

まず、「なんとか金を儲けよう」という仕事の目的が、変わった。そして、自分が倫理に参加できるのも、周りの人が支えてくれているからだ気付いた。「人のために、自分ができることをやろう」と決心した。計画を立て、実行し、3か月でテナントは元の状態に戻った。倫理では会長に選ばれた。

万人幸福の葉を指針書として...やはり普及が必要

会長になり、倫理をもっと勉強しようと思った。『丸山敏雄伝』にも感動したが、『万人幸福の葉』を初めて通して読んで、「すごい」と思った。「読むたびにすごい。他の本を読んで、また葉のすごさが分かる」という。

中でも、ハイの実践を心がけた。頼まれたことは素直にハイと受けると、まず気分がいい。そして、「受けても受けても、まだやれる。やれることは受けよう」と、地元小学校と地域住民による運動会でも、開催の責任者を務めた。お年寄りの方に運動会に来てもらおうと、今度は小学生が敬老会を訪れ、お年寄りの方のお話を楽しく聞いた。お互いに、自然に挨拶するようになった。この小学校は、学級崩壊がない、不登校の生徒が他に比べて非常に少ない、などの好結果を生んでいる。

金児氏は言う。「地方自治の最少単位は、小学校の校区が望ましい。昔は家庭の中で、自然に目上の人を敬う心が芽生えたが、今は地域と住民が一緒になって行うことが必要です」。金児氏は、3年後の市議選への出馬も、前向きに考えている。

また、金児氏はこうも言う。「人も国家も、今までは自分に有利なように戦略を立ててきた。戦争もそう。でも倫理は、人類誰もが共有できる内容で、人のためにやるからこそ、自分のためにもなる勉強です。だから、葉を指針書として、国家も戦略を立てる必要があるし、そのためには普及が必要になる。この気持ちで頑張りたい」。

新たに弁当屋もOPENした金児氏。今後は「食」分野での活躍にも期待したい。

次回 第884回MS! 7/8(火)6時~7時+朝食会 ホテルニューオータニ幕張(043-297-7777)

テーマ 「私のボランティア史」 講師 千葉市中央区倫理法人会 副会長 小林 明子 氏

できるできるやればできる!

明るく楽しくなければ倫理じゃない!

・会員120社・MS30名以上・美浜を美しく